



宇宙セクター会議一日欧提携サポートー2015年3月9日～11日(東京)



連絡先

氏名: ルカ・ロゼッティニ (Luca Rossetini)

役職: 最高経営責任者 (CEO)

会社住所: Via Giuseppe Mazzini,
2 - 20123 Milan (イタリア)

電話: 0236714010

会社ウェブサイト: www.deorbitaldevices.com [ルカ・ロゼッティニ]

Eメールアドレス:

luca.rossetini@deorbitaldevices.com



参加者プロフィール

略歴

ロゼッティニ氏は、宇宙空間における人類の有益かつ持続可能な発展を探究している。1998年に空挺部隊将校を退き、2003年に航空宇宙工学の修士号を取得。米国で1年間、宇宙用推進薬に使用するナノ技術の研究に従事した後、持続可能性に関する戦略的リーダーシップ (Strategic Leadership Towards Sustainability) の修士号を取得。先進的宇宙推進機 (Advanced Space Propulsion) の博士課程の間に (2008年に優等成績で博士号を取得)、IRTA (最先端の画像・スローモーション追跡技術) を確立。2006年、ナチュラル・ステップ・イタリア (The Natural Step Italia、国際 NGO) を共同で創設後、2008年には欧州宇宙飛行士部隊 (European Astronaut Corp) の上位200名の候補者に選出された (応募者数は約1万人)。2009年、フルブライト奨学金を受けて、米国カリフォルニア州シリコンバレーにおいて、技術起業学 (Technology Entrepreneurship) の修了証を取得。2010年に NASA (米航空宇宙局) のエイムズ・リサーチ・センターのインターンとなった後、宇宙廃棄物のソリューション開発の会社 D-Orbit を設立。

会社プロフィール

本社・支社所在地:

本社: Via Giuseppe Mazzini 2, 20123 Milan (MI) (イタリア)

統括オフィス: Via Madonna del Piano 6, 50019 Sesto Fiorentino (FI) (イタリア)

営業オフィス: Via Cavour 2, 22074 Lomazzo (CO) (イタリア)

関連会社: D-Orbit Inc. 11766 Wilshire Blvd, c/o RBZ LLP Suite 900, Los Angeles CA 90025 (米国)、
D-ORBIT PT Lda Av. Forças Armadas ed ISCTE 1600.083 Lisboa (ポルトガル)

株主:

創業者 (Luca Rossetini, Renato Panesi, Thomas Panozzo, Giuseppe Tussiwand) : 33.97%

TTSeed srl (ベンチャーキャピタル) : 25.68%

Quadrivio Capital SGR (ベンチャーキャピタル) : 35.72%

Como Venture srl (ベンチャーキャピタル) : 4.35%

ミッション:

当社ビジネスの第1段階である現在のミッションは、宇宙空間に放置されている物体の塊の系統的な増加を阻止し、宇宙産業のための持続可能で有益な未来と、宇宙任務のためのクリーンで安全な環境を推進すること。

[ルカ・ロゼッティニ]

(2015年3月)



宇宙セクター会議一日欧提携サポートー2015年3月9日～11日(東京)

ミッション:

当社ビジネスの第1段階である現在のミッションは、宇宙空間に放置されている物体の塊の系統的な増加を阻止し、宇宙産業のための持続可能で有益な未来と、宇宙任務のためのクリーンで安全な環境を推進すること。

技術ポートフォリオ:

低軌道(LEO)／中軌道(MEO)／静止軌道(GEO)衛星および発射台向け廃棄装置、D-Orbit 電気式起爆システム(DEES)、基幹ソフトウェア、D-Orbit 観測機器制御装置、3U キューブサット

民生分野:

航空宇宙、防衛産業

日本市場に向けた価値の提案:

D-Orbit は、技術面、および国際法規制の観点の両面における廃棄戦略のエキスパートです。当社は独自の能力を駆使して、日本の衛星プラットフォームにとって最適な廃棄戦略を分析・評価します。また、モジュール技術により、軌道内のどの衛星についても、寿命末期に適切な廃棄処理を施します。衛星、発射台および一般的なすべての物体には、宇宙への打ち上げ前に、廃棄装置を取り付けます。また、それらの装置を、迅速かつ安全に管理された方法で軌道から除去します。D-Orbit は、UNI EN 9100(イタリア国家規格)、および ISO 9001(国際規格)を取得しています。

D-Orbit の廃棄装置を使用すれば、衛星事業者は日本の法規制と国際ガイドラインだけでなく、最新のより厳格なフランスの法規制および ESA(欧州宇宙機関)の法規制に完全に準拠できます。当社システムは、現在使用中または評価中の廃棄戦略の中で最上位の性能／質量比を誇ります。また、寿命末期の衛星を軌道位置から迅速かつ適切に除去するという高い信頼性を得ており、事業者の皆様は、保有機の配備の最適化、運用の労力およびコストの削減、義務の大幅な削減を実現でき、最終的に衛星搭載のソリューションと比較して衛星の寿命を若干延ばすことにつながります。

日本の産業界および JAXA(宇宙航空研究開発機構)は、軌道内の廃棄物の現状に対する日本の人工衛星の影響を減らそうと積極的な取り組みを続けています。D-Orbit は独自の能力と経験を生かし、現在と将来の法規制にも対応可能な最善の廃棄戦略を提案し、実現します。

D-Orbit の特許申請は、欧州(EPO)、米国、ロシア、ウクライナ、インド、中国、日本、韓国、オーストラリア、カナダ、ブラジルで提出しています。

免責条項:ここに記載されている情報は、B2B(企業間)会議を促進する目的で、当イベントにおいてのみ使用します。